



(報道発表資料)

2023年8月31日
西日本電信電話株式会社
大分支部

カブトガニ産卵地清掃と干潟での観察会の実施について ～ 私たちの出来る SDGs シリーズ第5弾 ～

西日本電信電話株式会社 大分支部（支店長 三笥 博幸、以下 NTT 西日本 大分支部）は、地域貢献活動の推進や SDGs の目標達成に向けた取り組みとして、「カブトガニ産卵地清掃と干潟での観察会」を8月27日（日）に実施いたしました。

また、この活動は「第43回全国豊かな海づくり大会^{※1}～おんせん県おおいた大会～」の協賛事業として実施するものです。

※1：「全国豊かな海づくり大会」は魚食国である日本の食卓に、安全で美味しい水産食料を届けるため、水産資源の保護・管理と湖沼・河川的环境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、明日の我が国漁業の振興と発展を図ることを目的として、昭和56年に第1回大会が大分県で開催されて以来、毎年継続して全国各地で開催されています。

1. 概要・目的等

企業価値向上に向けたサステナビリティの柱の一つである環境が、気候変動や海面上昇などさまざまな問題により深刻化しており、環境保護は地球の持続可能性を高める緊急課題でもあることから、NTT西日本 大分支部は、杵築市で長年保護活動を行っている「カブトガニを守る会大分県支部（会長 釘宮 浩三）、及び八坂かっぱクラブ緑の少年団（実行委員長 綿末 しのぶ）」のご協力のもと、絶滅危惧種カブトガニの産卵地である杵築市守江湾の干潟清掃を実施し、カブトガニの干潟観察会を行い生物多様性と環境保護を学ぶ活動を実施いたしました。

2. 実施内容

- (1) 日 時：2023年8月27日（日） 11時から
- (2) 場 所：杵築市守江首ひねり波止周辺
大分県杵築市守江 3903号
- (3) 参加者：NTT西日本大分支部長 三笥 博幸はじめ、約30名

3. 今後の展開

今後も NTT 西日本 大分支店は、今回の取り組みに限らず様々な活動を通じて、地域の皆さまとの接点を大切にしながら、地域社会への貢献ならびに環境保護に向けて、少しでもお手伝いができるよう様々な活動に取り組んでまいります。



(「全国豊かな海づくり大会」の横断幕と参加者)

※ニュースリリースに記載している情報は、報道発表日時点のものです。最新の情報とは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。